

平成30年度 算数科授業の略案 (2学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
6月15日 (2校時)	3けたの数	100より大きい数をしらべよう
本時のねらい (2/13時) ○3位数の読み方や表し方を理解する。		
評価規準 技 3位数を書いたり読んだりすることができる。 知 3位数の読み方や表し方を理解している。		
学習過程	学習活動 (○発問 ・児童の活動)	留意事項・評価
【導入】 9:30	○前の時間のまとめ、振り返りを隣の人と話し合ってください。 ・百の位が出てきました。3けたで書きます。 ・235の百の位の数は、2です。	・ノートや学習掲示を見て、ペアで前時の振り返りをさせる。
【展開】 問題提示 9:33 課題把握 9:42 ・問いの共有 ・シラバス ・言語わざ ・キーワード 解決活動 9:45 ・一人学び ・ペア学び 集団解決 ・学び合い 9:52 ・考察 10:58 まとめ 10:02	1 P.51の挿し絵をもとに問題を提示する。 ブロックの数を数字であらわしましょう。 ○(位取り板を見て)ブロックはいくつあるでしょう。 ・200個と6個あります。 ・二百六個です。 ○数字で表すとどうなりそうですか。前の時間との違いを探して説明してください。 ・十のくらいが0になりそう。 ・十のくらいが何もない。 2 課題を把握する。 0になるくらいがあるときの3けたの数のあらわしかたを、ずやことばをつかってせつめいしよう。 ・空位がある時の数の表し方を考え、説明することを確認する。(一人学び・ペア合わせて8分、全体10分、まとめ2分、振り返り8分) 「図や言葉を使って説明する。」 (くらい, 0) 3 自分の考えを、図や言葉を使ってノートに書く。書けた人からペアで考えを共有する。 ・図や言葉を用いて説明できている児童にはホワイトボードを渡して書くようにすることで、他の児童とも共有できるようにする。 4 考えを全体で話し合う。 ○図や言葉を使って説明しましょう。 ・百の位は100のかたまりが2個あるから2と書きます。十の位はなにもないので0と書きます。一の位も同じように6と書きます。だから「206」です。 0になるくらいがあるときは、そのくらいに0を書きます。	・位取り板を掲示することで、児童が見通しを持ちやすくする。 ・「206」と表すことが分かっている児童には、どうしてそう書くのか理由を考えるよう促す。
【終末】 適用問題 10:05 ふりかえり 10:10 10:15	5 適用問題に取り組む。 ・P.51  ,  6 学習したことを振り返る。 ・0は「そのくらいになにもない」という意味で書かれているのだと知りました。	技 3位数を書いたり読んだりすることができる。(ノート, 発言) 知 3位数の読み方や表し方を理解している。(ノート, 発言)